

愛宕山・新年会

(924m)

実施日：2024 年 01 月 09 日 (火)

天候： 晴れ

参加者： 11 名 青木、岡本、川添、川鍋、園田、田中、中原、細田、牧野、増尾、園田

行程： 「清滝」バス停 7:35→7:41 金鈴橋 7:45→7:59 火燧権現 8:03→8:15 立ち休憩 8:19→
8:31 茶屋跡東屋 8:39→5:56 五合目休息所→8:59 酒樽 9:05→9:31 水尾分かれ 9:36→
10:01 黒門→10:08 水平参道入り口→10:18 愛宕神社 10:52→11:30 水尾分かれ 11:33→
12:09 水尾水源地→12:17 丸源

いつもは 6 日頃の愛宕山であるが、今年は長い所は 8 日まで休日になるため、休日明けの今日 9 日の実施となる。神社のお神酒はまだあるだろうか？ともあれ、雪の無い愛宕を予想していたが、7 日の夜から冷え込み、薄っすら雪化粧か。金鈴橋 (-3°C) のトイレで用を足し、鳥居をくぐって急登を上り始める。いつものごとく、火燧権現で衣服調整の小休止をとり、茶屋跡の東屋を目指す。30 分程のアルバイトで茶屋跡の東屋 (-0.5°C) に着く。ここまでが急登であった。

小休止後、次の東屋を目指し上る。五合目休息所の東屋に来たが、もう少し上の酒樽のところが陽当たりがいいので、酒樽まで上り、小休止を取る。いい天気で陽ざしが気持ちよい。嵐山、桂方面が望める。一休み後、更に上ってゆく。かわらけ投げでも休まず、水尾分かれまで上る。ここで小休止。いつもなら、ここから一足先に水尾に下る人もいるが、今日は全員が山頂へ向かう。少しずつ雪は増えるが、いつもと比べると少ないので、アイゼンも装着しない人、装着する人、半々ぐらい。黒門を過ぎると、神社はもう近い。水平参道の雪を踏みしめ、最後の石段を上り、愛宕神社着。古いお札をお返しし、お参りをし、お神酒を頂き、薪ストーブの休憩所でおやつタイム。新しいお札を求め、神社前で記念撮影。神主さんがシャッターを切ってくださいました。同時に愛宕神社のInstagramにアップされる写真も撮られた。(夜確認すると、一番上の左に我々の写真がアップされていた)

神社の石段を下り、新しく設置されたバイオトイレを確認し、下る。下りはアイゼン装着者が増える。水尾分かれで小休止後、一本調子の石ころの多い道を下る。この下りは意外に疲れる。ましてや今回は途中の立休憩もなく一気に下る。丸源には新年会に参加の岡本さんも来られていた。順番にゆず風呂に入り、13 時過ぎから新年会開始。とりスキを食べ、かつ飲み、楽しいひと時を過ごす。お開きの後、全員での写真を撮り、JR 保津峡駅に送ってもらう。しかし、3 名の健脚者は歩いて保津峡駅に向かう。



1, 鳥居をくぐって、登山開始



2, 鳥居からの急登を経て、火燧権現で衣服調整の小休止



3, 最初の東屋を目指す



4, 最初の東屋、茶屋跡の東屋がそこ



5, 茶屋跡で小休止



6, 酒樽を目指す



7, 酒樽に到着



8, 酒樽にて、嵐山から流れ出る桂川を見る



9, 水尾分かれを目指す



10, 水尾分かれで小休止後、再スタート



11、 亀岡盆地の雲海を見る



12、 黒門に到着



13, 黒門でアイゼン装着する人も



14, 水平参道



15, 水平参道を愛宕神社への最期の石段に向かう



16, 愛宕神社前で全員（写真は愛宕神社のInstagramにアップされたものを転用）



17, 水尾の郷への下り



18, 新年会のはじまり、はじまり



19, 宴もたけなわ



20, 丸源にて全員